



Title	日米シンポジウム：貧困、不平等、社会的公正：「見えない貧困」を見えるように
Citation	教育福祉研究, 10(1), 1-4
Issue Date	2004-02
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/28367
Type	bulletin (article)
File Information	10(1)_P1-4.pdf



[Instructions for use](#)

日米シンポジウム：貧困、不平等、社会的公正 —「見えない貧困」を見えるように—

青 木 紀

以下の報告は、青木紀代表・文部科学省科学研究費基盤研究B「子どもを持つ生活保護世帯に対する教育福祉的介入に関する研究—北海道を中心に—」（2001年度—2003年度・課題番号134100413）に基づく成果の一部である。当研究の研究代表者及び研究分担者は、青木紀（北海道大学教育学研究科）、杉村宏（法政大学現代福祉学部）、岩田美香（北海道医療大学看護福祉学部）、青木デボラ（北星学園大学短大部英文学科）、松本伊智朗（札幌学院大学人文学部）、間宮正幸（北海道大学教育学研究科）、横井敏郎（北海道大学教育学研究科）であった。その研究の目的は以下の通りであった。

「個人や家族が2世代以上にわたって貧困の中に暮らす状態は、貧困の世代的再生産と呼ばれ、それらはしばしば、なかば固定された階層として地域社会の中で『排除』されて存在している。本研究は、このような現実の中におかれている生活保護世帯に対する、親と子どもの『自立』を援助するための、教育福祉的介入（interventions）のあり方を研究対象とし、生活保護政策・ケースワークの前進を図ろうとするものである……」
「北海道におけるわれわれの実態調査の経験からする限り、欧米ほど明確でないにせよ、それに匹敵する形で『貧困の世代的再生産』（貧困のコミュニティ）が層として確認され、それがまた『養護施設』の子どもの問題、あるいは大人に関連して

いえば『ホームレス』の問題というように、見えない連鎖で連関していることを推測すると、生活保護世帯を中心とした親への経済的・精神的自立に関する援助、及び子どもの『教育達成』に関わる援助方法の開発は、貧困の拡散の防止からもきわめて重要な環の位置にあり、緊急な課題であることは明らかである……」「そのことを前提に、われわれは、基本的には北海道を対象にした、子どもを持つ生活保護世帯・低所得層の『自立』援助策を研究の中心に据えることとし、関連して、これまでわれわれが築き上げてきたアメリカの社会福祉・教育研究者との連携の中で、この計画を進めることを構想した。その意味でこれは、社会福祉を基礎とした臨床心理・教育・文化人類学までにわたる分野の、それぞれの研究蓄積のある日本側研究者とアメリカ側の研究者との、本格的な共同研究の開始としても位置づけられる……」（「研究計画調書」）

かくして、研究最終年度の2003年9月3日、われわれは、これまでの研究成果の発表と、アメリカ調査でお世話になった研究者との今後の共同研究の始まりとして、「貧困、不平等、社会的公正—「見えない貧困」を見えるように—」というテーマで、日米共同のシンポジウムを開催することとなった。以下はその時の「呼びかけ文」と「スケジュール」である。

日米シンポジウム開催のお知らせ

テーマ：貧困、不平等、社会的公正—「見えない貧困」を見えるように—

夏らしい夏が来ない今年の天候ですが、みなさまご健勝のことと推察いたします。

さて、この度、青木紀（北海道大学教育学研究科）を代表とする文部科学省科学研究費・基盤研究（B）「子どもを持つ生活保護世帯に対する教育福祉的介入に関する研究」の成果を下に、**別紙の要項**で、日米シンポジウムを開催することになりました。底知れない不況の中で、貧困が徐々に表面化し、福祉国家の変質と共に個人や家族の不平等が拡大する中で開かれるシンポジウムとして、またアメリカの貧困問題研究者との合同で行われるシンポジウムとして、大きな意義を持ったものになることが期待されます。開催内容は、わが国はもちろんのこと、アメリカでさえ「見えにくい」といわれる貧困問題を見えるように、その現実と障害を、個人主義・家族主義・資本主義との関連で、「共通」に考えていこうというものです。

日本側の報告者及びコメンテーターは別紙の通りですが、アメリカ側の報告者についていえば、Keith Kilty氏はオハイオ州立大学教授で、学術雑誌『JOURNAL OF POVERTY』の編集長であり、Elizabeth Segal氏はアリゾナ州立大学教授で同雑誌の副編集長、および Madelaine Adelman氏は同大学の助教授です。Kilty氏とSegal氏は、つい最近も*Rediscovering the Other*

America: The Continuing Crisis of Poverty and Inequality in the United States, Haworth Press (2003) などを出版されていますが、いずれもたくさん著書・論文があります。またアメリカの社会福祉学会などにおける革新的研究者を代表する人々です。

この「お知らせ」は、北海道大学内では、研究内容のキーワード（貧困、不平等、社会福祉、福祉国家、マイノリティ、アメリカなど）から検索させていただいた研究者のみなさまを中心に送っています。9月3日のシンポジウム参加に興味を持たれ、出席を希望される場合は、下記のメールアドレスにご一報ください。今回のシンポジウムは、開催1週間前までに報告原稿の提出を義務づけ、参加者にはそれを送り届けることを予定していますので、出席者には事前に「報告」を送付いたします。なおシンポジウムの報告は、日本側は日本語、アメリカ側は英語で行いますが、討論等のみは通訳を用意して行います。

2003年7月20日

北海道大学教育学研究科教授・青木紀

電話 (011) 706-3102

メールアドレス：aoki@edu.hokudai.ac.jp

JAPAN-U.S. SYMPOSIUM

POVERTY, INEQUALITY AND SOCIAL JUSTICE: MAKING INVISIBLE POVERTY VISIBLE

SEPTEMBER 3, 2003 - SAPPORO, JAPAN

Hokkaido University Graduate School of Education Conference Room

Organizers

Osamu Aoki, Hokkaido University, Deborah McDowell Aoki, Hokusei Gakuen University and Mika Iwata, Health Sciences University of Hokkaido

Social Stratification among Single Mothers: Formation and Usage of Limited Resources by Mika Iwata, Health Sciences University of Hokkaido
Discussant: Masayuki Mamiya, Hokkaido University

Sponsor

Core Funding from Japan Ministry of Education, Science and Culture (Research Grant 2001-2003 No.13410043: Development of Interventions to Break the "Reproduction of Intergenerational Poverty " through Partnerships between Education and Social Work)

10:30-11:30 A.M.

The Battering State: Towards a Political Economy of Domestic Violence by Madelaine Adelman, Arizona State University
Discussant: Ichiro Matsumoto, Sapporo Gakuin University

Authors will have forty minutes to present their papers, and discussants will have ten minutes to discuss the papers.

11:30-1:00 P.M. LUNCH

AFTERNOON SESSION 1: POVERTY AND INEQUALITY

SCHEDULE FOR WEDNESDAY, SEPTEMBER 3

9:00 A.M. Registration - free coffee and tea service available

9:15 A.M. Welcome

MORNING SESSION: FAMILIES IN POVERTY

9:30-10:30 A.M.

1:00-2:00 P.M.

Invisible Poverty and Inequality: Case Studies from Research in Hokkaido, Japan by Osamu Aoki, Hokkaido University
Discussant: Taku Okabe, Tokyo Metropolitan University

2:00-3:00 P.M.

An Examination of Poverty in the United States: A Values Perspective by Elizabeth

Segal, Arizona State University

Discussant: Deborah McDowell Aoki,
Hokusei Gakuen University

3:00-3:30 P.M. BREAK

**AFTERNOON SESSION 2: POVERTY AND
EXCLUSION**

3:30-4:30 P.M.

Poverty and Social Exclusion in Japan by
Hiroshi Sugimura, Husei University

Discussant: Kou Shiina, Hokkaido
University

4:30-5:30 P.M.

Poverty, Exclusion, and Racial and Ethnic
Minorities in the United States by Keith
Kilty, Ohio State University

Discussant: Toshimasa Suzuki, Hokkaido
University

5:30 P.M. ADJOURN

6:00 P.M. RECEPTION